

学校教育目標			
a ミッション	地域の強みを生かした小中高連携による瀬戸田教育の発展	a ビジョン	地域から信頼され、児童や教職員が自校や地域に誇りが持てる学校

評価計画					自己評価				学校関係者評価			改善計画			
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価			l コメント	m 改善案	
					g 達成値	g 達成値				イ	ロ	ハ			
確かな学力の育成	基礎学力定着	モジュール学習の確実な実施 (週4日 1回15分)	学期ごとの国語(漢字)算数(計算)の単元末テスト80%以上の児童の割合	80%	漢字 50% 計算 55%	漢字 81% 計算 79%	101% 98%	B	・ドリルやプリントの徹底練習を行い、達成率が上がってきている。 ・学力調査の結果前学年の漢字の定着が不十分であったことがわかったため、指導の工夫改善が必要である。	5	2	1	・徹底練習は大切だと思います。時間と人数が少ない中ですが個別学習等も必要だと感じます。地域教育支援推進委員会としてもできることがあったらやります。 ・文章を書く場面で既習漢字を適切に使うように意識付けが出来ると思う。(日記、作文等に使用漢字数記入も) ・言葉を通して友達と対話する機会が大事。多様な意見や違いを受け入れて学びが深まる場であってほしい。 ・国語、算数以外の教科指導も充実を期待したい。	・引き続きモジュール学習の時間を活用し、徹底習熟を図る。(マス計算・音読・書き取りの実施) ・全ての学年で、前学年の漢字の練習の時間を取り、児童の習熟を深める。(教科書、フラッシュ・書き取りの活用)	
	読解力の育成	国語科の授業研究、1人年間1回以上	学期ごとの国語(読む領域)の単元末テスト80%以上の児童の割合	80%	72%	86%	91%	B	・文学体験を用いた授業改善、資料の読み取りを扱った授業改善を重ね、達成度が91%になった。 ・自分の意見を持ち、友達と話し合っ意見交流する児童の姿がよく見られるようになった。	3	2	3	・前期に物語文の研究授業、後期に言語技術に関する研究授業を実施し、教員の授業力向上に努める。 ・普段の授業から、対話の必然性を生み出す工夫をすると共に、児童が互いに関わって思考する授業を展開する。		
豊かな心の育成	ルールやマナーを身につけ、自律した学校生活を送る意欲を高める。	基本的な生活モデルの定着	掃除活動の徹底 そうじのさ(さっと集まる)し(静かに黙って)す(すみずみまで)せ(掃除道具の整頓)そ(そうじをしよう)の確実な実施と振り返り	振り返りカードの「できた」の割合 1学期は「さっと集まる」「静かにだまって」の2項目	80%	79%	57%	72%	C	・「さっと集まる」については、ほとんどの児童ができるようになっていく。掃除分担の打合せや注意等を行うことがあり、「静かにだまって」の項目については目標を達成できなかった。	4	4	4	・スローガンや雰囲気づくり、手本となる先生達や児童の増加、強化週間、表彰など工夫するといいたい。 ・校外で挨拶することの意味を、私たち地域の人から児童に話す機会があるといいたい。 ・地域住民も子ども達に声をかけるようにするといいたい。 ・自分が考えて自分の行動に責任が持てる児童になるよう、学年に応じた取組を引き続き重ねてほしい。 ・以前に比べると、挨拶時の表情がやわらかくなったと思う。地域住民も積極的にあいさつを掛け合います。 ・やらされ感のないように、児童が自主的に取り組めるような肯定的評価(ほめ言葉)の充実を期待したい。	・児童が自主的に掃除に取り組むことができるよう、マニュアルや分担表等を掲示して周知するとともに、担当場所を1か月以上固定する。
			気持ちのよい挨拶の励行	自分から進んで、誰にでもはっきりと挨拶することができる児童の割合	80%	84%	83%	103%	A	・目標達成はしているが、児童の自己評価と教職員や地域の方の評価が整合しない状況が続いている。特に、校外で自分から進んで挨拶をしている児童は少ない。	6	1	1	・教職員が気持ちのよい挨拶を実践することで、児童に範を示していく。 ・児童会本部役員を中心に挨拶運動を実施する。	
健やかな体の育成	心身の健康や体力の向上を図る教育活動の推進	体力づくりの推進	体育の授業での体力づくり運動の実施と休憩時間の外遊びの推奨	体力づくり運動や外遊びを行った児童の割合	80%	70%	58%	73%	C	・コートヤードで縄跳びを行うことで、学年を越えて運動を交流することができるようになった。 ・体育委員会が9月：リレー大会、10月：ドッジボール大会を実施し主体的に運動に参加できるような取り組みを行うことができた。	6	2	2	・中学校では、毎時間のはじめに本時の活動に向けた運動と課題となっている体力づくりの項目の運動を意識的に取り入れていました。必ず準備運動にいれるといいたい。 ・コロナ禍も重なり、家の中の生活が増えて外遊びが大幅に減った今、学校で体力づくりに力を入れていることがありがたいと思う。 ・外遊びの割合が100%になるような、創意工夫を期待したい。	・小体連の縄跳びの取り組みと併せて、体力づくりを継続して行っている。担任やクラスのレク係などの主導によって学級や学年でのレクを仕掛けるなどの取り組みが必要である。 ・第5学年の新体カテストの結果より、本校の課題の種目を目標値として取り組む必要がある。
		食育・健康教育の推進	給食後の歯磨きの徹底	給食後に歯磨きを行った児童の割合	90%	95%	92%	102%	A	・100%のクラスは4か月で12/48クラスと高・低学年が多く、歯磨きへの意識が高くなっている。しかし、未だに歯磨きを行っていない児童への取り組みが必要である。	7	1	1	・多くの児童が目標値を達成し、習慣化できている。しかし、歯磨きを行っていない児童への指導が必要であり、健康面だけでなく、学習面においても課題があると考えられる。家庭と密に連携をとることで、健康への意識を高めていく必要がある。	
信頼される学校	地域連携によるふるさと学習の充実	小中高連携と地域と関連づけた「ふるさと学習」の教材化	「ふるさと学習」を実施した学年の割合	100%	67%	100%	100%	A	・感染対策に配慮しながら社会見学で地域巡りをしたり、地域の方を外部講師として招聘したりしてふるさと学習をすすめた。 制限がある中で学習を進めるためには、従来の年間計画や活動方法を見直す必要がある。	6	1	1	・とんとん地域を活用してください。 ・社会見学で実地見聞をしたり地域の方を招いて学習する時間がとれただけでよかったです。 ・自分もそうですが、地域の良さはそこに住んでいると中々気付けないものです。外から入ってきて瀬戸田に住んでいる人の話を聞くことができれば、また新しい地元の良さに気付くかもしれません。 ・ホームページはよく見させてもらっています。普段の児童の様子がよく分かります。 ・地域と連携した「ふるさと学習」の実施が100%なのは評価できる。学校の取組を家庭や地域に戦略的に広げていく工夫も必要である。 ・(働き方改革の推進について)とても難しい課題だと思えます。先生方のやる気(やりたいことがしっかりできる)、やりがい(大切だと思えます。もちろん、子ども達のためのやる気、やりがい)であり、それが自分自身にもかえってくると思います。 ・コロナ禍で多忙を極める現場をCS制度が十分に支えられず、残念だった。	・地域の方との直接交流が減少した中で、少人数での探究活動やオンライン等の活用を工夫していく必要がある。また、これまで積み重ねてきた地域との結びつきを切らさないように、関係者・関係団体との連携を継続していく。	
	小中高一貫教育の推進と開かれた学校づくり	学校情報の積極的公開	学校だよりの発行 学校ホームページの充実	保護者アンケート「学校だよりの発行や学校ホームページを見ると学校の様子がわかる」における肯定的な回答の割合	80%	-	76.2%	95%	B	・学校だよりの発行、学校ホームページの更新は月1回以上行うことができ、行動目標は達成できた。保護者アンケートでは、「学校だよりの発行やHPを見ている」と回答した割合は81.7%であり、「学校だよりの発行やHPで様子がよくわかる」と回答した割合は76.2%であった。	8			・「学校だよりの発行やHPを見ている」と回答したうち「様子がよくわかる」と肯定的に評価した割合は88.0%であった。HPを見ている人は肯定的であり、お便りやHPに興味を持ってもらえるように内容を工夫をしていく。	
	働き方改革の推進	時間外勤務時間の削減	月45時間以内の教職員の割合	90%	73%	83%	92%	B	・業務改善を進めた結果、徐々に時間外勤務時間45時間以内の教職員が増えてきている。しかし、新型コロナウイルス感染症に係る対応や休職した教員の業務代行等により、管理職と教務主任(担任業務)の時間外勤務が増加している。	6	1	1	・学校行事や校務分掌等を精査し、児童と向き合う時間を確保するとともに、教職員の負担感の軽減を図る。 ・教職員が心身ともに健康な状態で過ごせるよう、今後も業務改善を進める。		

【自己評価 評価】

A: 100% ≤ (目標達成)  
C: 60% ≤ (もう少し) < 80

B: 80% ≤ (ほぼ達成) < 100  
D: (できていない) < 60

【外部評価】 イ: 自己評価は適正である。ロ: 自己評価は適正でない。ハ: わからない。